

犬を飼いはじめるとき、名前を考へることでもウキウキする一方、「犬が覚えやすい方がいいのかな？」と名前のつけ方に悩む場合もあるでしょう。

結論から言うと、「飼い主さんが愛着をもって愛情をこめて呼べる名前」をつけてください。つまり、飼い主さんの思いのこもった名前が一番です。

確かに、短い言葉（少ない音節）やハッキリと発音できる言葉、家族と似ていない名前、日常会話でもあまり使わない言葉などは犬にとって聞き分けやすく、覚えやすいという要素もあります。

しかし、このよう

1 ■  
どうする？  
犬の名前

## 愛情込めて呼べる名を

な名前をつけたとしても、犬に適切に教えれば、「覚えてくれない」ということはありません。

例えば、「シャインマスカット」と長い名前をつけたとしても、多くの場合「シャイン」や「シーちゃん」など短い愛称で呼ぶことになり、犬はそれに反応するようになります。フルネームは飼い主さんが分かっていたらよいのです。

愛犬に愛情たっぷりに接するために、飼い主が愛犬に愛着をもてる名前にして、愛情こめて呼ぶことが重要です。愛犬と良好な関係を築くための第一歩として、意味にこだわった名前をつけてみてはいかがでしょうか。

（ヤマザキ動物看護大講師 堀井隆行）

教えて!